

## 答 辞

澄み渡る空から降り注ぐ光に春の訪れを感じる、令和八年三月のこの佳き日、私たち専門科300名は卒業の日を迎えることができました。本日は、私たちのためにこのような盛大な卒業式を挙げてくださり、卒業生一同心より感謝申し上げます。また、本日の式に向けて、準備を重ねてくださった佐久間勝彦校長先生をはじめ諸先生方、ご多用の中ご臨席賜りましたご来賓の皆様、ならびに保護者の皆様、多くの方々の温かな眼差しに見守られ、私たちは今晴れやかな気持ちでこの場に立っております。卒業生を代表し皆様に心から厚く御礼申し上げます。

振り返れば、私たちの三年間は挑戦の連続でした。三年前、商業科、情報処理科の入学生としてこの門をくぐったあの日、実習室のモニターや聞き慣れない専門用語を前に誰もがゼロからのスタートを切りました。慣れない手つきで電卓を叩き、基礎から必死に吸収しようと皆で机に向かったあの時間は、私たちの原点です。

専門的な知識を武器に、自らを高めようともがいていた三年間は今も私たちの誇りです。その学びの集大成となったのが三年生の課題研究でした。私は「CK-VIEW」と名付けたプロジェクトを立ち上げ、学校の公式ホームページへの実装を目指して、学校の3Dモデル化とバーチャルツアーの制作に挑みました。校舎を自ら測量し、独学で新しい技術やソフトウェアを習得しましたが、思い通りに動かないシステムや解決の糸口が見えないエラーに何度も挫折しそうになりました。夜遅くまで仲間と議論を重ねて問題を解決し、ようやく完成させたあの時間の達成感、卒業生の皆さんもそれぞれの研究や活動の中で同じように正解のない壁にぶつかりそれを乗り越えた時間があったのではないのでしょうか。仲間と喜びを分かち合った思い出は唯一無二の財産です。

二年の秋に訪れた長崎への修学旅行では、原爆資料館の見学や当時の惨状を語り継ぐ方のお話を通し、過去の悲しい歴史の重みに向き合いました。その後の班別行動では異国情緒あふれる長崎の歴史や文化に触れ、仲間と共に街を歩きました。自分たちで計画し笑い合いながら過ごしたこの何気ない時間こそが平和な時代を生きる証なのだと思えることができました。

この当たり前の日常が「平和の尊さ」そのものであることを実感したことは何よりの思い出です。旅の終わりにバスの車内に響く先生の歌声にクラス全員が聞き入り、「まだ帰りたくない」と願ったあの午後の温かな光景を、私は一生忘れません。

部活動では、私は弓道部に所属し放課後は毎日のように弓道場に立っていました。弓を引くことさえ許されない長い下積みの期間、厳しい筋トレに音を上げ先輩方の指導に応えられない自分への情けなさに焦りを感じ悔し涙を流したこともありました。それでも指が動かなくなるまで引き切った、合宿の夜の思い出や、練習の帰りに仲間と囲んだ食事の時間が、私の折れそうな心を支えてくれました。二年生の冬、ようやく大会での結果が安定し、大阪で大舞台に立った時の震えるような感覚、種目や活動内容は違えど卒業生の皆さんも同じ

ように人知れず涙を流し、あるいは仲間と手を取り合って限界に挑んだ日々があったはず  
です。最後の総体で味わった悔しささえも今は自分を形作る大切な記憶となっています。

ふと自分のスマートフォンの写真を見返すと、そこにあるほとんどがひたむきに練習に  
励んだ弓道場での姿と粘り強く向き合い続けた課題研究の記録でした。

華やかな高校生活ではなかったかもしれませんが、私たちはこの場所で何かに心を  
尽くして打ち込み、困難に直面しても一歩ずつ歩みを進めることの尊さを知りました。写真  
フォルダに収まりきれないほどの葛藤と喜びこそが学年全員の誇りです。

そして、一番近くで私たちを支えてくれた家族へ、三年間毎朝早くからお弁当を作り、送  
り出してくれてありがとう。勉強や部活動に明け暮れ、甘えてばかりの私をあなたたちはい  
つも支えてくれました。自分の未熟さゆえに時に素直になれず、遠ざけてしまうこともあり  
ました。それでも決して見放さず常に一番の味方でいてくれました。その一つ一つの温かさ  
がどれほど私の救いになっていたか、言葉では言い尽くせません。面と向かっては照れくさ  
くて言えないけど、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

最後になりますが、今日まで私たちを導いてくださった先生方、専門的な知識や技術だけ  
でなく、人としてのあり方、真心の大切さをおしえてくださりありがとうございました。

千葉経済大学附属高等学校での三年間で構築したこの「絆」というネットワークはたとえ  
離れていても決して途切れることはありません。この絆を胸に私たちはそれぞれの場所で  
自分らしく一歩ずつ確かな足跡を刻んでいこうと思います。

私たちの母校、千葉経済大学附属高等学校のさらなる発展と皆様のご健勝を祈念し答辞  
とさせていただきます。

令和8年3月1日 専門科卒業生代表